Hin Leong Trading

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

創業者と会社

Hin Leong Tradingは、福建省出身の移民Lim Oon Kuinによって1963年に設立されました。漁船へのディーゼル燃料の配達から事業を始めた同氏は、それをアジア最大級の独立系石油トレーダーへと成長させました。[1] 同社は、Ocean Tankersを通じてタンカー船隊も保有する同族グループの中心に位置していました。2010年12月には、実現していればシンガポールで4番目となる製油所の建設計画を発表しました。2014年には新規株式公開を準備しましたが、同年末までに中止しました。[2]

同社は非公開の同族企業のままでした。業界でOK Limとして知られる創業者は、ともに取締役を務める子どもたちとともに同社を支配していました。同社が貸手に提出していた財務諸表は、大規模で収益性の高い事業を示していました。2019年度について、Hin Leongは約200億米ドルの売上高と8,000万米ドル近い純利益を報告していました。[3] これに基づき、シンガポールの3行と国際的な最大手のトレードファイナンスの貸手数行を含む20数行が、グループに与信枠を供与していました。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

2020年4月：開示

中国でのパンデミック発生に続いて起きた2020年初頭の原油価格の暴落は、数週間のうちに同社の実態を露呈させました。Lim Oon Kuinは、中国の回復に伴って価格が上昇すると賭けていました。このポジションは、同氏の関係者が典型的なHin Leong流の取引と評したものです。価格がさらに下落すると、損失はもはや隠しきれなくなりました。同氏は貸手に対し、同社が財務諸表に一度も計上されなかった約8億米ドルの先物取引損失を償却していたと告げました。また、銀行の担保として保有されていた石油が売却されていたことも明らかにしました。[4]

2020年4月17日、Hin Leongは、当時施行されていたモラトリアム規定である会社法（Companies Act）第211B条に基づき、債権者からの保護を高等法院に申し立てました。Limは同日、子どもたちが取締役会に残ることを希望する旨を表明して、取締役を辞任しました。警察は2020年4月21日、同社を捜査していることを確認しました。2020年4月27日、裁判所は同社の裁判所管理の申立てと、PricewaterhouseCoopersの管理人への選任を承認しました。債務は、23の貸手に対する約38.5億米ドルに上りました。最大の債権者はHSBCで、約6億米ドルでした。シンガポールの銀行では、DBSが約2億9,000万米ドル、OCBCが約2億米ドル、UOBが約1億米ドルの債権を有していました。[5]

当時は他の数字も出回っていました。業界紙の報道は、ABN Amroのエクスポージャーを約3億米ドル、ソシエテ・ジェネラルのエクスポージャーを約2億4,000万米ドルとし、シンガポールの3行の債権は合わせて約6億8,000万米ドルとしていました。後の報道は、最大35億米ドルのエクスポージャーに言及しています。合計額の違いは、時点の違い、エクスポージャーの定義の違い、そして信用状のようなオフバランスシートの手段を含めるか否かを反映しています。規模の桁について疑いはありません。[6]

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

管理人の調査結果

管理人は、長年にわたり新たな借入れによって損失を賄ってきた事業の姿を描きました。その報告書は、詐欺の「悪循環」について述べています。同社は偽造または使い回しの船荷証券に基づいて融資を受け、新たな融資を受けるたびにそれを以前の融資の返済に充てていました。まさにポンジ・スキームのようなやり方です。業界紙の報道は、銀行が主張した手口を、数字の水増し、架空取引、同じ積荷の複数回の売却、存在しない積荷の売却とまとめています。[7]

この仕組みは、融資銀行が互いに分断されていることに依存していました。各銀行が目にするのは、自らの取引と自らに呈示された書類だけでした。売買契約、請求書、船荷証券または補償状、場合によっては検査証明書です。他の貸手が同じ積荷に融資していることも、請求書に記載された買主が購入に合意したことなど一度もないことも、どの銀行にもわかりませんでした。取引が循環的なもの、すなわち商品が仲介者の連鎖を経てHin Leongに戻ってくるものである場合、書類は形式上は真正である一方、取引は資金を調達するためだけのものでした。本章で後に検討するその後の訴訟は、主としてこうした連鎖をめぐるものでした。

創業者に対する刑事事件

Lim Oon Kuinは、2020年8月14日に初めて偽造罪で起訴されました。2021年6月、検察は既に提起されていた25件の訴因に105件を追加しました。新たな訴因は、とりわけ、2020年3月に積み込まれたとされる約50万バレルの軽油に関する船荷証券と、Unipec Singaporeへの石油の売却とされるものに基づいて8つの金融機関が提供した約12億米ドルの売掛債権ファイナンスに関するものでした。これらの機関のうち5機関は、当時なお約2億3,500万米ドルの債権を有していました。2023年1月の報道は詐欺（cheating）128件に言及しており、訴因が変更されるにつれてその数が変動したことがわかります。[8]

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

公判は3件の訴因について進められました。2024年5月、州裁判所（State Courts）は、Limを詐欺（cheating）2件と偽造教唆1件で有罪としました。同氏は、同社の従業員を通じて、実際には行われなかった2件の石油売買について、HSBCに1億1,200万米ドル近い融資を行わせていました。これは、China Aviation OilとUnipecへの売却とされるものを示す偽造書類によって裏付けられていました。HSBCは約2,600万米ドルを回収し、これらの取引について約8,500万米ドルの損失が残りました。[9] これらの犯罪は、刑法（Penal Code）第420条（詐欺および財産の交付の不正な誘引）と、第109条と併せて読む第468条（教唆による詐欺目的の偽造）に該当するものでした。これらの規定の植民地時代の起源については、第B部第I章で述べています。[10]

量刑と上訴

2024年11月18日、裁判所は当時82歳のLimに禁錮17年6か月を言い渡しました。この刑は、詐欺の訴因に対する8年6か月の刑2つを併科せず同時に執行するものとし、これに偽造の訴因に対する9年の刑を連続して執行するものでした。検察は20年を求刑し、関係する金額をシンガポールの刑事史上前例のないものと表現していました。裁判官はこれを「staggeringly large」と述べ、本件を詐欺犯罪の最上位の類型に位置付けました。そして、こうした詐欺が引き起こす反応、すなわちコンプライアンス規則の厳格化や銀行によるトレードファイナンスの撤退からシンガポールの金融システムを守るためには、抑止的な刑が必要であると判示しました。[11]

2026年3月4日、高等法院（Hoo Sheau Peng J）は、量刑に対する同氏の上訴を認め、刑期を13年6か月に短縮しました。医学上の理由から400万シンガポールドルの保釈金で保釈されていたLimは、刑の執行開始予定の直前に入院しました。同氏は2026年4月2日、Gleneagles Hospitalで身柄を拘束されました。[12] 裁判官は、通常の3分の1の刑期短縮を考慮しても、原審の刑期は「crushing」であると判断しました。相当な被害回復と高齢を理由に減軽を認め、これにより一つの詐欺の訴因でHSBCに帰せられる損失額は

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

5,600万米ドルから2,970万米ドルに減額されました。また、犯罪が石油取引業界に対する公衆の信頼を損なったという主張に地方判事が過大な比重を置いたと判示する一方で、司法上の寛恕を求める主張は退けました。[13] 最終的に提起された130件の訴因のうち、残りの127件は進められませんでした。検察が訴追に代わる厳重警告を行った後、2026年7月17日、地方裁判所は、これらの訴因について同氏に無罪に相当する釈放（discharge amounting to an acquittal）を認めました。[14]

一族との和解

一族に対する民事上の帰結は、2024年9月に和解により決着しました。Lim Oon Kuinは、同社の清算人とHSBCに約35.9億米ドルを支払うことに合意し、同氏と2人の子ども、Evan Lim Chee MengとLim Huey Chingは、個人破産を申し立てることを約束しました。[15] この規模の和解は、主として責任の承認です。債権者が実際に回収できる額は一族の換価可能な資産次第であり、それは破産手続によって確定されます。この数字が示しているのは、回収の規模というよりも請求の規模です。

注

1. 創業者の福建省の出自と、漁民へのディーゼル燃料供給から始めた初期の事業については、Lim Oon Kuinに関する報道のプロフィールで広く報じられています。 ↩
2. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：1963年にLim Oon Kuinが設立。2010年12月にシンガポールで4番目の製油所の建設計画を発表。2014年に新規株式公開の計画を発表し、同年末までに中止。 ↩
3. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：2019年度について、売上高200億米ドル、純利益8,000万米ドル近くと報告。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

4. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：Limは中国がCovid-19から回復するにつれて原油価格が上昇すると賭けており、これは“quintessential Hin Leong play”と表現されました。Limは貸手に対し、同社が8億米ドルの先物取引損失を償却していたと告げました。*Global Trade Review*（GTR）, “Analysis: Banks nervous over fraud losses as Singapore oil traders collapse”、2020年5月20日：2020年4月、Lim Oon Kuinは8億米ドルの未開示の先物損失を明らかにし、担保として保有されていた石油が売却されていました。 ↩

5. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：2020年4月17日、Companies Act section 211Bに基づく保護を申立て。Limは同日辞任。警察は2020年4月21日に捜査を確認。2020年4月27日、PwCによる裁判所管理が承認。Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：23の貸手に対する債務38.5億米ドル。最大の債権者はHSBCで6億米ドル。DBS 2億9,000万米ドル、OCBC 2億米ドル、UOB 1億米ドル。 ↩

6. GTR、2020年5月20日（前掲）：エクスポージャーは、当初HSBC 6億米ドル、ABN Amro 3億米ドル、Société Générale 2億4,000万米ドル、DBS、OCBC、UOBの合計約6億8,000万米ドル。GTR, “Singapore authorities seek end to paper-based trade finance after fraud scandals”、2020年10月14日：Hin Leongに対する銀行の当初のエクスポージャーは最大35億米ドルに上るとみられていました。GTR, “Singapore ups fight against fraud with real-time BL verification tool”、2025年2月12日：最大35億米ドルの損失。 ↩

7. GTR, “Agritrade executive charged by police over deceptive bills of lading”、2021年9月22日：Hin Leongの管理人は、同社が偽造船荷証券に基づく融資に依存しており、それはポンジ・スキームのように機能する詐欺の「vicious cycle」であったと述べました。GTR、2020年5月20日（前掲）：主張された手口は、数字の水増し、偽の取引、同じ積荷の複数回の売却、積荷が存在しない架空の売却。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

8. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：Limは2020年8月14日に偽造罪で起訴されました。GTR、2021年9月22日（前掲）：2021年6月、Lim Oon Kuinは以前の25件に加えて105件の新たな訴因に直面しました。その中には、2020年3月に積み込まれたとされる約50万バレルの軽油に関する船荷証券や、Unipec Singaporeへの売却に基づいて8つの金融機関を欺き、12億米ドルの売掛債権ファイナンスを提供させたことが含まれます。5機関はなお約2億3,500万米ドルの債権を有していました。GTR, “Agritrade executive jailed for 20 years for role in fraud scandal”、2023年1月18日：Lim Oon Kuinは詐欺（cheating）128件に直面しており、その中には、無効な船荷証券に基づくシンガポール初の詐欺の訴因も含まれています。 ↩

9. GTR, “Hin Leong founder jailed over fraud scandal that shocked Singapore”、2024年11月18日：2024年5月、詐欺（cheating）2件と偽造教唆1件で有罪。HSBCは、行われなかった石油取引について1億1,200万米ドル近くを提供させられました。China Aviation OilとUnipecへの売却を示す偽造書類。HSBCは約2,600万米ドルを回収し、8,500万米ドルの損失が残りました。 ↩

10. Singapore Police Force, “Founder of Hin Leong Trading sentenced and jailed for cheating and instigating forgery”、2024年11月18日。本書第B部第I章で引用。 ↩

11. GTR、2024年11月18日（前掲）：2024年11月18日に禁錮17年6か月の判決。8年6か月の刑2つの同時執行と、さらに9年の刑からなります。検察は20年を求刑。Toh Han Li判事は金額を「staggeringly large」と述べ、本件を詐欺事件の最上位に位置付けました。GTR、2024年11月18日（前掲）：判事は、銀行のコンプライアンス規則の厳格化やトレードファイナンスの撤退からシンガポールの金融エコシステムを守るために、抑止的な刑が正当化されると述べました。年齢と健康を理由とする寛大な処分を求める主張は退けられました。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

12. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：2026年3月4日に上訴が一部認められ、刑期は13年6か月に短縮。Limは医学上の理由により400万シンガポールドルの保釈金で保釈中。2026年3月28日に入院し、保釈は2026年4月2日まで延長され、同日Gleneagles hospitalで身柄を拘束されました。 ↩

13. *The Star*, “Hin Leong founder O.K. Lim hospitalised three days before 13½-year jail sentence starts”、2026年3月31日：2026年3月4日、Justice Hoo Sheau Pengが上訴を認め、刑期は13年6か月。原審の刑期は3分の1の刑期短縮を考慮しても「crushing」。石油取引業界に対する公衆の信頼に関する検察の主張に過大な比重が置かれていたこと。相当な被害回復と高齢を理由とする減軽。一つの訴因におけるHSBCの損失は5,600万米ドルから2,970万米ドルに減額。司法上の寛恕を求める主張は退けられました。2026年3月28日にGleneaglesに入院。 ↩

14. *The Straits Times*、2026年7月の報道。Singapore Law Watch（“Remaining charges against Hin Leong founder OK Lim withdrawn”）および*The Online Citizen*、2026年7月21日による転載：提起された訴因は合計130件、残りの訴因は127件。訴追に代わる厳重警告が行われ、2026年7月17日に無罪に相当する釈放（discharge amounting to an acquittal）。 ↩

15. Wikipedia, “Hin Leong”（2026年11月最終閲覧）：2024年9月、Limは清算人とHSBCに約35.9億米ドルを支払うことに合意。同氏と子どものEvan Lim Chee MengおよびLim Huey Chingは、それぞれ個人破産を申し立てることとされました。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned.

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.